

琴浦を歩く

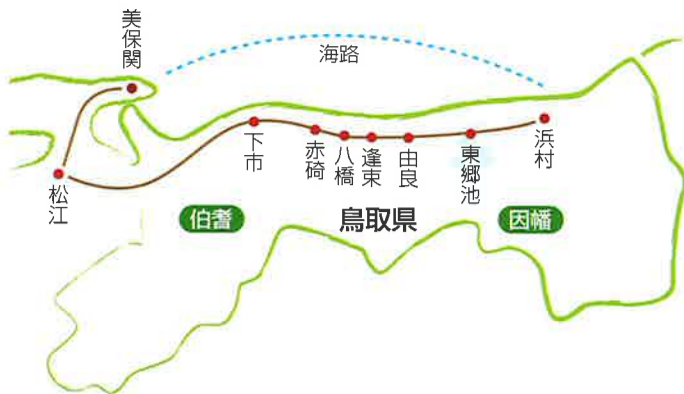
小泉八雲が旅した



小泉八雲
小泉八雲は、「耳なし芳一」などの怪談の著者として知られ、山陰では松江の中学校に赴任し、その地で、セツと知り合い結婚したことなどが語り継がれています。
八雲・セツは松江時代の明治三十四年（一八九〇）の夏、八月に新婚旅行を兼ねて、伯耆・因幡の海岸沿いを旅し、盆踊りに子どももの頃の頃の霊的な体験を振り返ったのかもしれないと、八雲はたいへん気に入り、砂浜に遊び、だれも泳いでいない海で海水浴を楽しんでたようです。

写真：船上山

【小泉八雲・セツの足どり（明治24年（1891年））】



1 江原酒造本店

中井旅館の西側の江原酒造本店は「興民の建物百選」に選ばれるなど落ち着いた景観を残し、日本海に広がる砂浜は、八橋海水浴場として賑わいます。



2 旧中井旅館

1891年（明治24）8月に小泉八雲が八橋に訪れた際、友人に送った手紙の一文にてでくる宿屋が現在でもその姿を残しています。当時は裏に家がなく、旅館を出るとすぐ海であり、客室からも海を見渡すことが出来たようです。八雲にとって八橋は印象がよく、「八橋はとても愉快でした。眠り、食べ、泳ぎ、まったく愉快です。」と書いています。



3 小泉八雲・セツ記念碑

来訪を記念して平成16年3月に記念碑が建立されました。



赤碕塔

鎌倉末期に安山岩でつくられた塔。高さ約3mの宝塔様式と宝篋印塔の二様式を持ち、赤碕付近にしか見られないことから、赤碕塔と名付けられ、花見瀉墓地の一角にあります。



4 花見瀉墓地

約2万基の墓石が東西約300mに渡って立ち並び自然発生墓地で、海岸部にあるものとしては西日本最大級。墓地がではじめたのは、中世後期以降（400～500年前）と推定されます。現在の墓石に通ずるものは江戸時代初期のものから見る事ができます。



大山町

access 交通アクセス



琴浦町



JR

（主要都市から）
琴浦町→大坂……約3時間40分
琴浦町→京都……約4時間10分
暫緩急行「スーパーはくと」倉吉駅下車
米子方面行きに乗換え 浦安・八橋・赤碕で下車
琴浦町→東京……約6時間10分
琴浦町→名古屋……約4時間30分
新幹線・暫緩急行利用
琴浦町→高岡……約5時間
琴浦町→広島……約4時間
新幹線・伯耆線利用
（県内各地から快速又は普通）
米子→琴浦各駅……約30分～1時間
倉吉→琴浦各駅……約20分～30分
鳥取→琴浦各駅……約1時間～1時間45分

自家用車

琴浦町→（国道179号線）→院庄IC……約1時間15分
琴浦町→（国道313号線）→瀬原IC……約1時間
琴浦町→（国道9号線）→名和IC……約20分

空路

東京（羽田）→鳥取・米子（1日4～5便）……約1時間10分～1時間15分（ANA）
名古屋（中部国際）→米子（1日2便）……約55分～1時間10分（ANA）
ソウル→米子（週3往復）……約1時間30分（OZ・アジア航空）
各空港→琴浦町間はバス・JRで2時間
車で約1時間30分

■発行：琴浦まちおこしの会
■後援：(社)中国建設弘済会、鳥取中部ふるさと広域連合
財(財)ごうぎん鳥取文化振興財団

お問い合わせ

【琴浦町観光協会】〒689-2501 鳥取県東伯郡琴浦町赤碕1140-1
TEL.0858-55-7811 URL <http://www.kotoura-kankou.com/>
(平成22年3月末日発行)



倉吉市



5 菊港・波しぐれ三度笠
江戸時代の赤碕の本港、菊港の東突堤に、荒波の日本海を北海道に向かって立つ石像三体の彫刻で、彫刻家・流政之氏作。昔の旅姿を象徴し、高さ4.33mの白御影石を用いたもので、見る人それぞれに深い印象を抱かせます。



6 日韓友好交流公園・風の丘
1819年(文政2)、韓国江原道平海(現韓国慶尚北道蔚珍郡平海)を航した商船が嵐で難破し赤碕沖に漂着しました。鳥取藩は安藝基船長以下12名を保護し、手厚くもてなして長崎まで送り届け、一行は無事帰国しました。この史実を物語る掛け軸が、鳥取県立図書館に保存されています。この地に日韓友好の永続を願い、韓国との交流及び情報発信拠点としてこの公園が整備されました。



8 斎尾廃寺跡(国指定特別史跡)
奈良前期・白鳳時代の寺院跡で、法隆寺式伽藍配置をとった山陰で唯一の国指定特別史跡。東西160m南北250mの土地に、塔・金堂・講堂・中門・回廊・土塀の跡があり、基壇・礎石が当時の面影をしのばせます。



11 神崎神社
現在の本殿は1853年(嘉永6)に建築。拝殿は1879年(明治12)に完成し、牛馬の神として信仰が厚い神社。ことに本殿・拝殿の彫刻で名高く、人物・鳥獣の美しさは見事です。本殿の彫刻は、鳥取藩抱え大工・小倉園三郎の作、拝殿は園三郎の孫・平次郎の作で、県の保護文化財です。(境内自由)



町指定保護文化財
高く伸び繁った杉の老木に囲まれた参道の正面に石段があり、その上に簡素で美しい茅葺屋根の山門が建っています。



9 伯耆の大シイP (新日本名木百選)

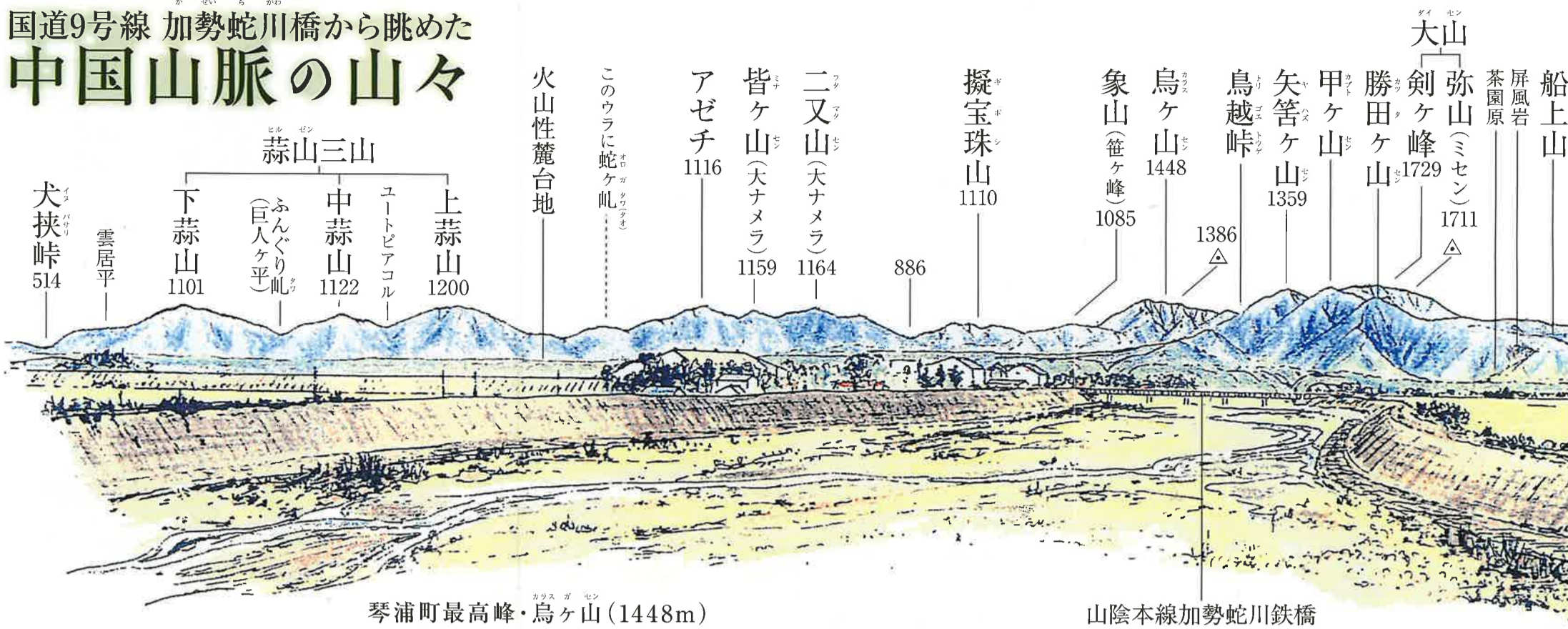


10 転法輪寺(伯耆札所)空也上人像
別宮にある天台宗の古刹。寺伝によると承和年間(834~848)慈覚大師が開基したとされ、また古くから空也上人入寂の地とも伝えられており、数々の空也伝説を残しています。本堂は空也堂とも呼ばれます。本堂の厨子に安置されている「木造空也上人像」の修業姿(県指定)と入定姿(町指定)の2体は保護文化財に指定され江戸初期の造像とみられ、ともに胡粉地の彩色立像で、当地方の空也信仰を物語る貴重なものです。(境内自由)

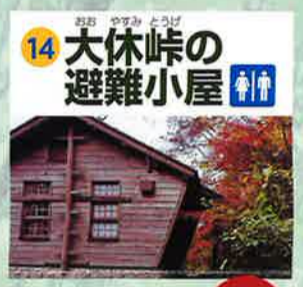


12 河本家住宅
棟札によれば、1688年(貞享5)に建築された民家で、上手、裏側が改造され、落棟の客間を持った変形五間取りになっていたが、現在は広間六間取りに復元されています。また、防火のため台所のかまどの上をおおう天井は、泥を塗り込めた大変珍しいもの。県の保護文化財。

国道9号線 加勢蛇川橋から眺めた
中国山脈の山々



大山瀧から大休峠の登山道
A ~ B 間 2時間30分~3時間30分



地獄谷

1時間30分



B

大休



13 大山瀧 (日本の滝百選)

平成2年に「日本の滝百選」に選ばれている名瀧で、落差42mの二段に流れ落ちる美しい瀧。日本海に注ぐ加勢蛇川の源流でもあります。一向平キャンプ場から1.8kmと最適なハイキングコースで、途中の深谷美・つり橋・鮎返りの瀧など見どころはたくさん。
一向平を拠点に、大休峠から川床、大山寺・野田山や矢筈ヶ山・甲ヶ山・船上山、地獄谷から烏ヶ山などへの本格的な登山も楽しめます。

45分



一向平 P キャンプ場

45分

至9号線

A

大山瀧吊橋

歩いて みよう、琴浦の森。

地元の人に愛されている琴浦町の木「ブナ」林をはじめ、たくさんの可憐で美しい花々に出会うことができます。季節ごとに表情を変えていく癒しの森を、歩いてみませんか？

船上山は、平安時代の初期頃(約1100年前)から山岳仏教が栄え、大山、美徳(三徳)山とともに伯耆三嶽と呼ばれた。修験道の霊場であった。また、名和長年が後醍醐天皇を率いて北条氏の兵を破った古戦場で、太平記の舞台にもなり、1333年(元弘3)天皇は隠岐島を脱出して伯耆に上陸され、以後京都に帰還されるまで80日余りを行宮として過ごされたゆかりの地で、国の特別史跡となっており、東大山山地の主要部を構成し、標高は615m。頂上は広く平坦な溶岩台地ですが、東西及び北の上部斜面には垂直に近い断崖が連続しています。ハイキング・登山に最適な山で、頂上までは約40分。甲ヶ山(1338m)などを經由して大山山系に登ることもできます。麓には船上山ダム、県立船上山少年自然の家、さくらの里などの施設があります。

15 船上山 (日本の紅葉)

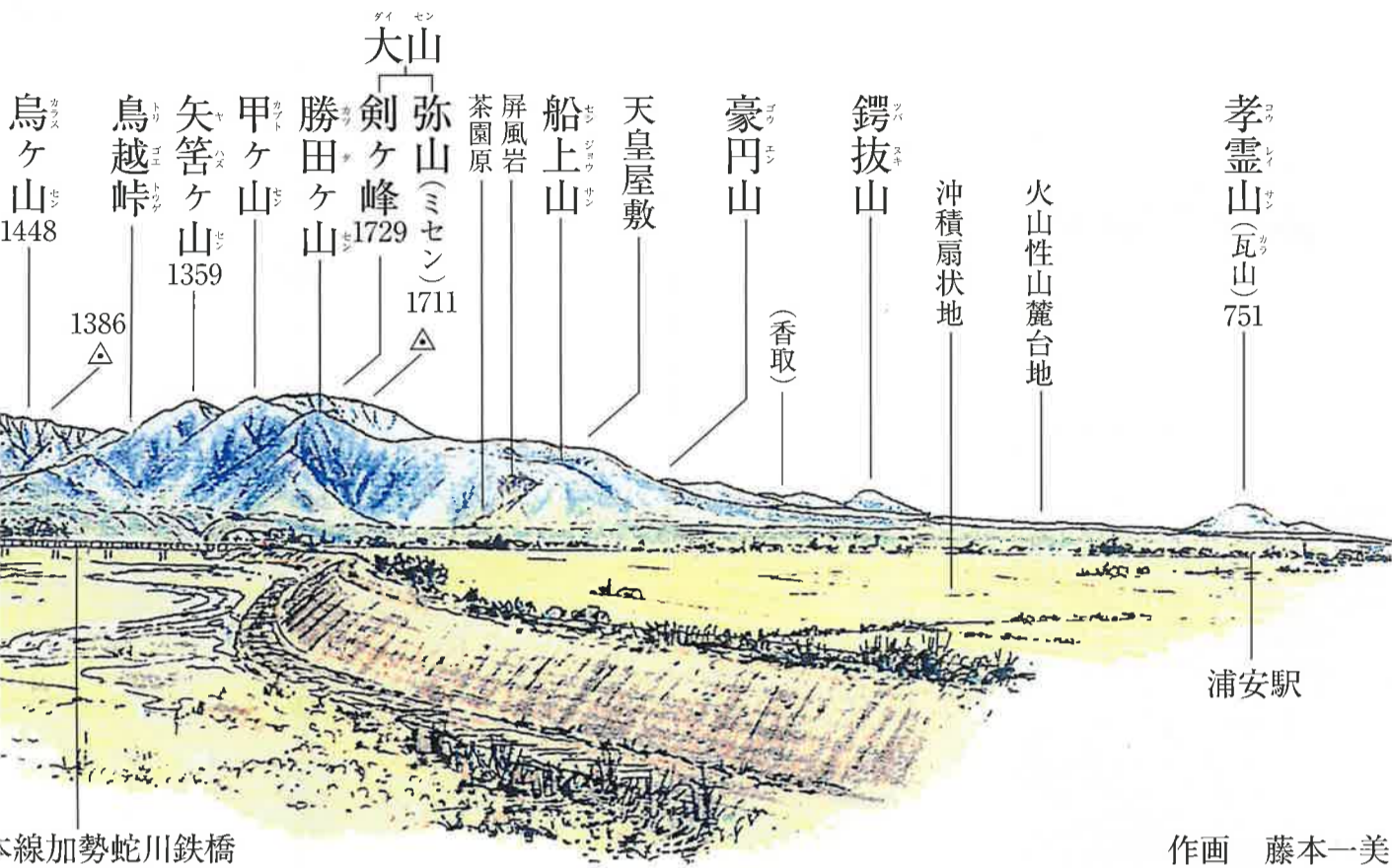


船上山ダム湖



1時間

C



さまざまな表情をみせる大山

東
 西
 南
 北

悠久の歴史の足跡が残る大山。東西南北・四季折々さまざまな表情を見ることが出来ます。大山の絶景を是非お楽しみください。

14 大休峠の避難小屋

地獄谷

大休峠

1時間

至大山寺

1時間

矢筈ヶ山

甲ヶ山

1時間30分

15 船上山(日本の紅葉百選)

船上山登山道 B~C間 5時間~6時間

勝田ヶ山

1時間30分

上山ダム湖

1時間

船上山P 少年自然の家

至9号線

は、平安時代の初期頃(約700年)から山岳仏教が栄え、大山、(ミセン)山とともに伯耆三嶺と呼ばれた道場の地であった。また、名和電融天皇を奉じて北条氏の兵戦場で、太平記の舞台にもなった(元弘3)天皇は隠岐島を脱出の上陸され、以後京都に帰還する80日余りを行宮として過ごされた。この地で、国の特別史跡として、東大山山地の主要部を構成する約15m。頂上には広く平坦な溶岩台地が、東西及び北の上部斜面に連続している。八景登山に最適な山で、頂上まで登山系に登ることもできます。船上山ダム、県立船上山少年自然の家などの施設があります。